

参 考 資 料

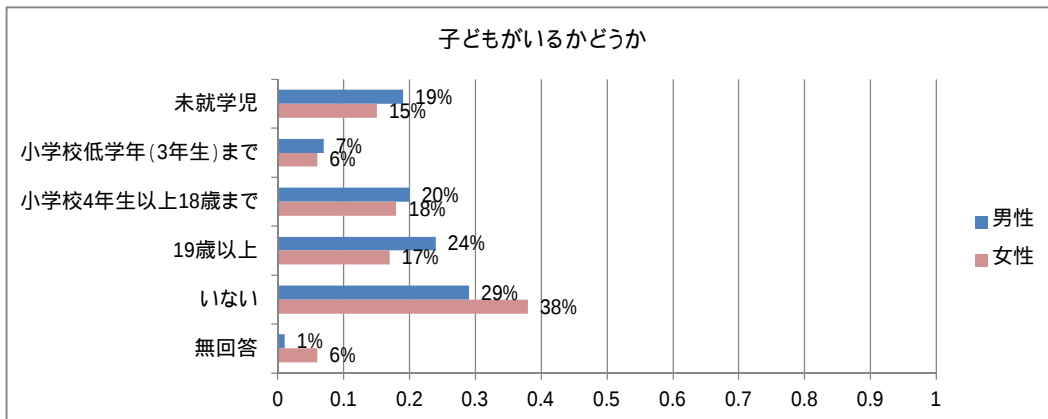
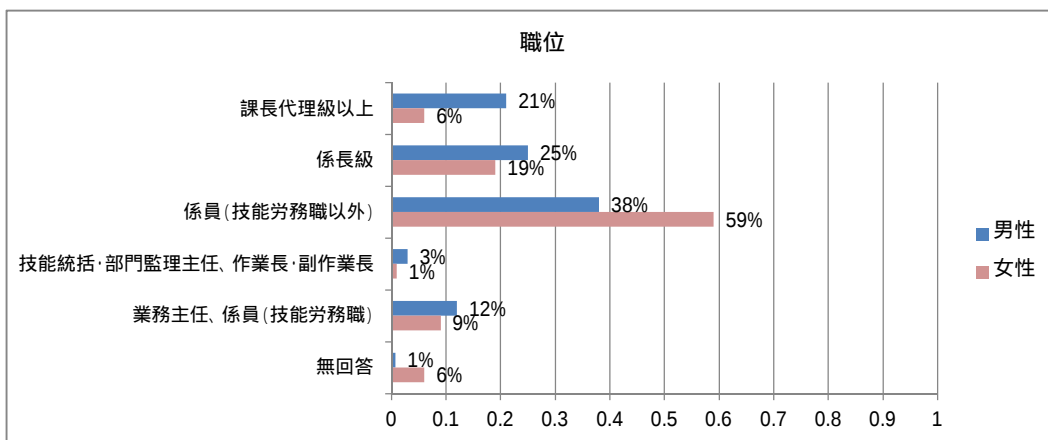
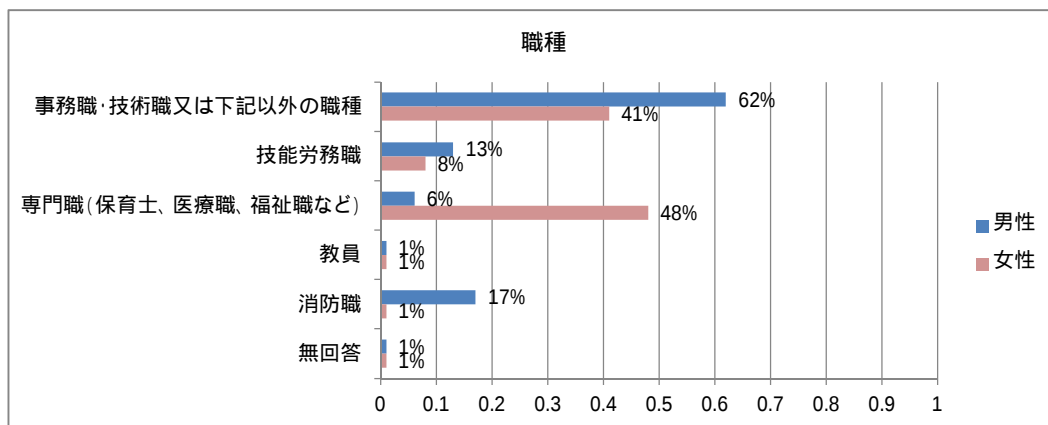
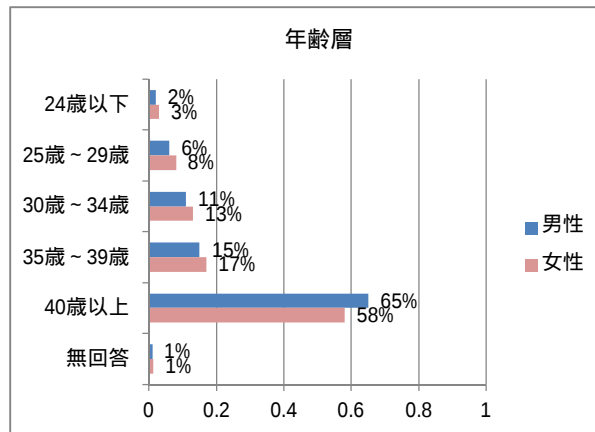
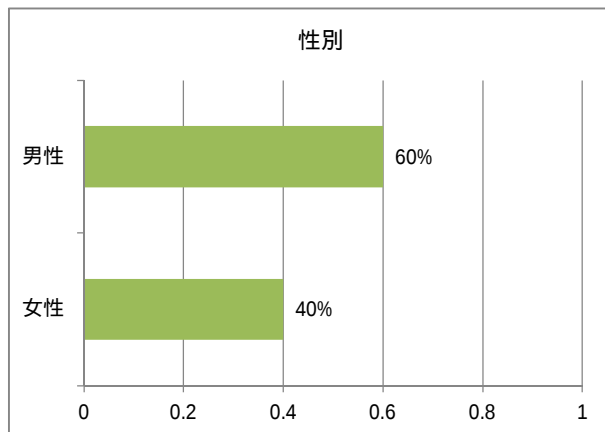
○ アンケート調査結果の概要

・平成25年度実施（本市全所属）

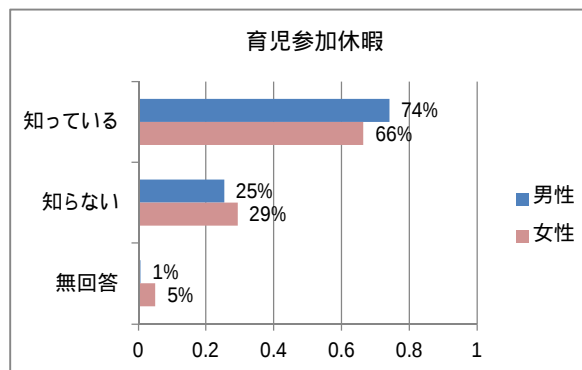
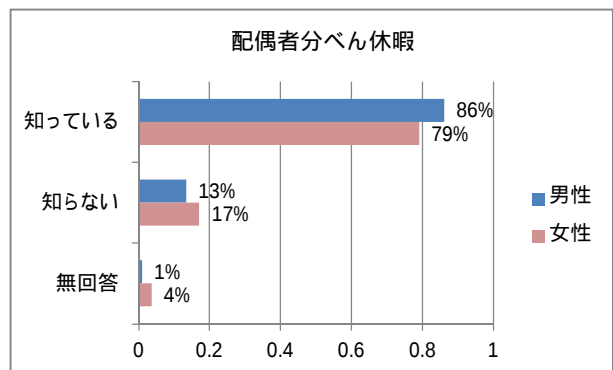
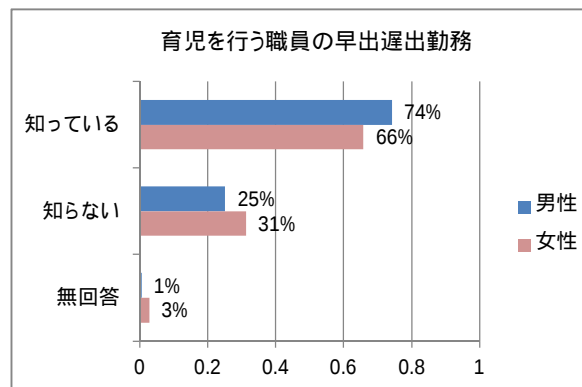
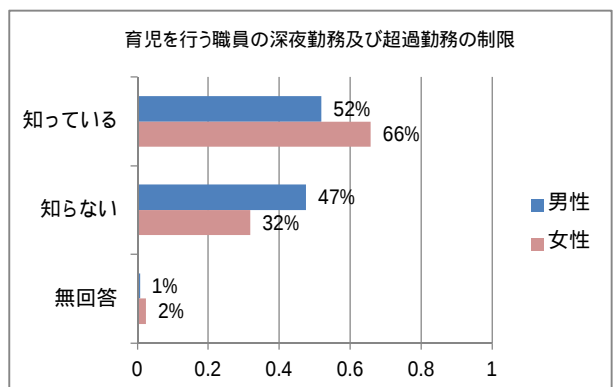
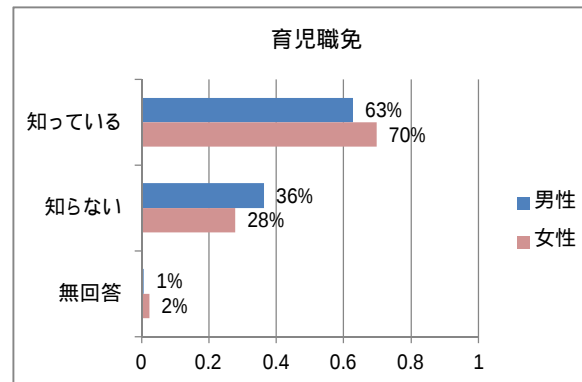
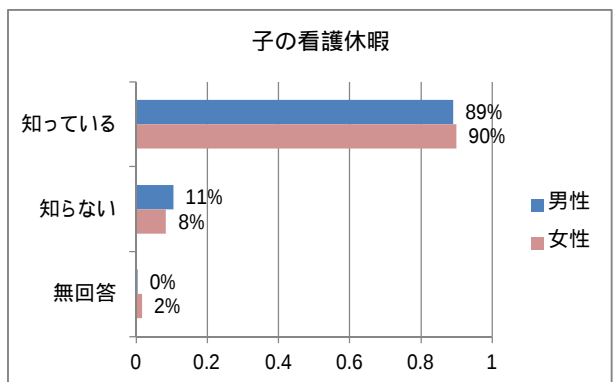
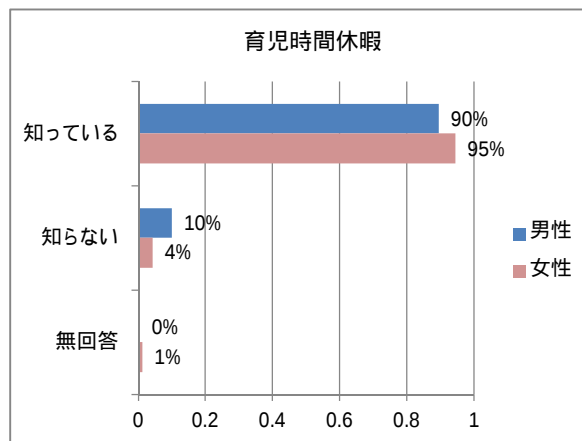
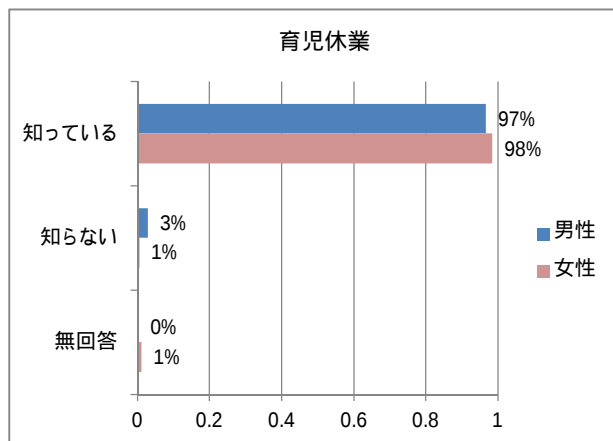
回答者総数 7,995名

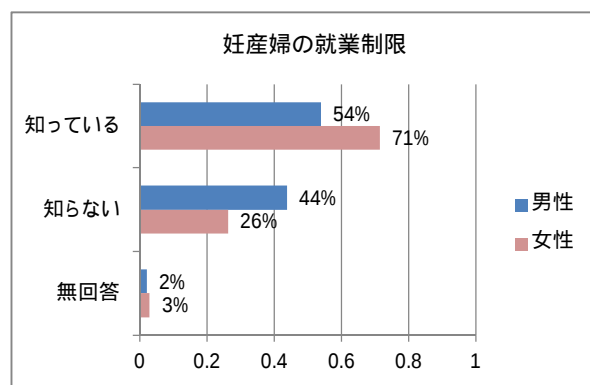
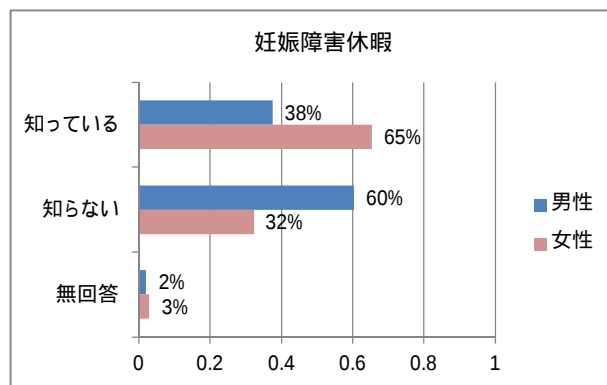
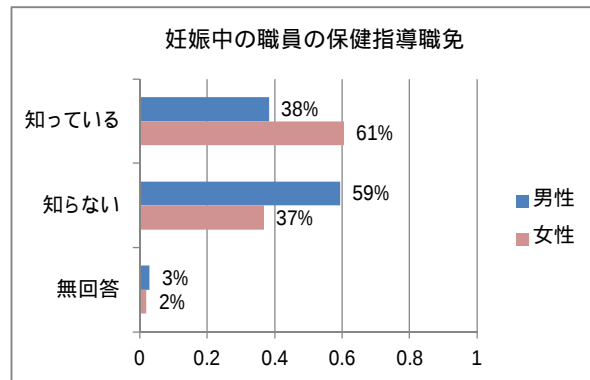
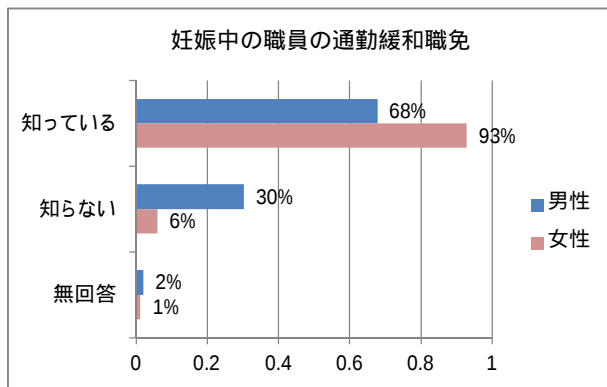
アンケート回答者の属性	性別	男性	4,771
		女性	3,224
	年齢層	24歳以下	183
		25歳～29歳	554
		30歳～34歳	942
		35歳～39歳	1,270
		40歳以上	5,040
		無回答	6
	職種	事務職・技術職又は下記以外の職種	4,256
		技能労務職	903
		専門職(保育士、医療職、福祉職など)	1,869
		教員	41
		消防職	913
		無回答	13
	職位	課長代理級以上	1,184
		係長級	1,803
		係員（技能労務職以外）	3,722
		技能統括・部門監理主任、作業長・副作業長	154
		業務主任、係員（技能労務職）	874
		無回答	258
	子ども	未就学児	1,392
		小学校低学年（3年生）まで	511
		小学校4年生以上18歳まで	1,549
		19歳以上	1,679
		いない	2,636
		無回答	228

● アンケート回答者の属性



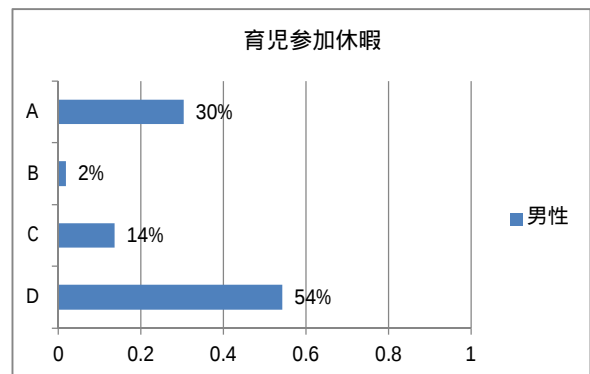
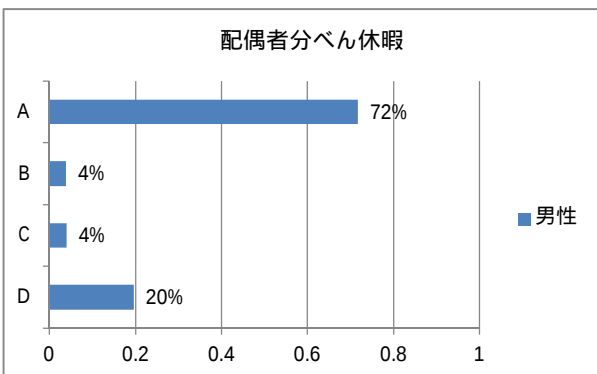
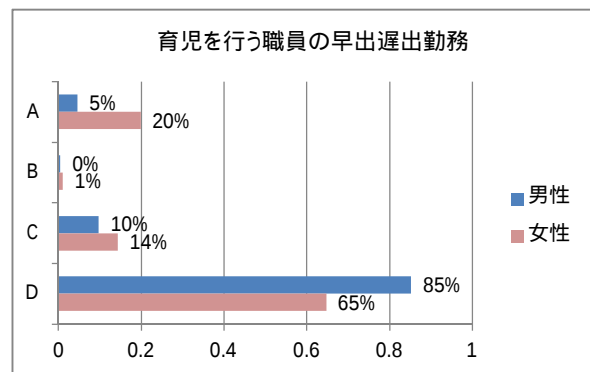
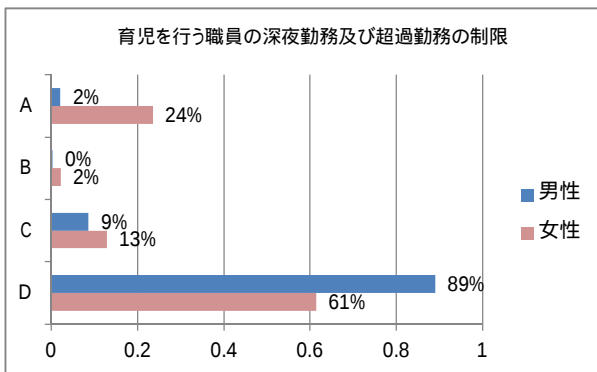
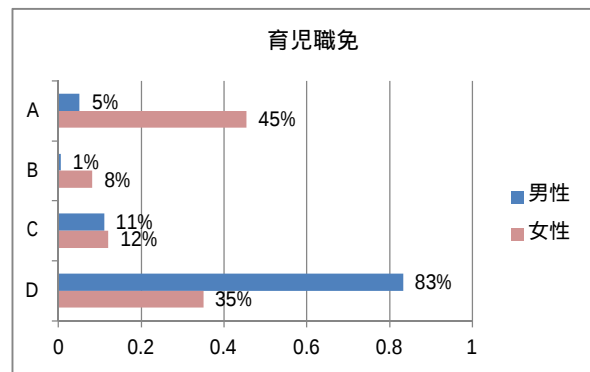
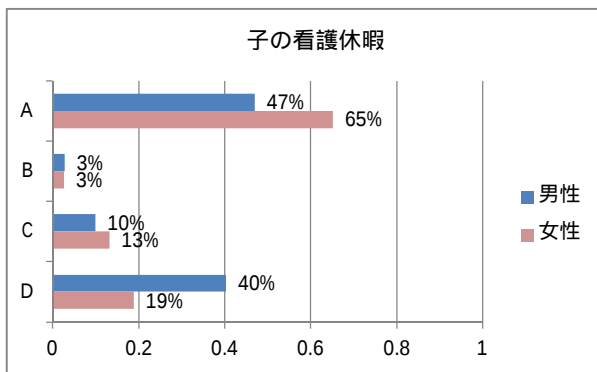
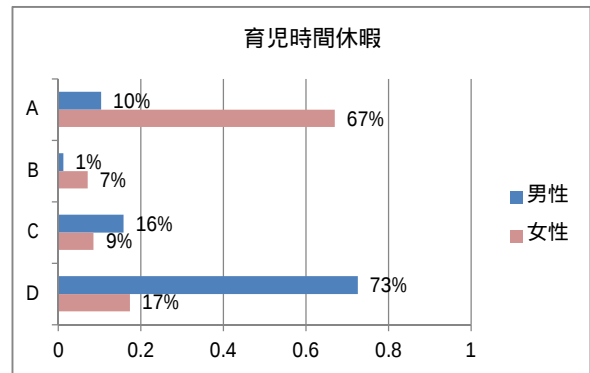
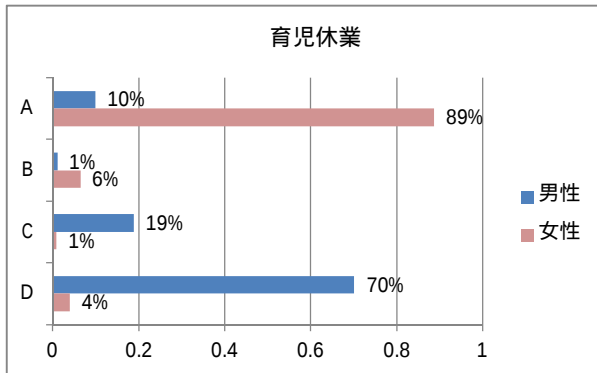
【1】 次の制度があることを知っていますか。



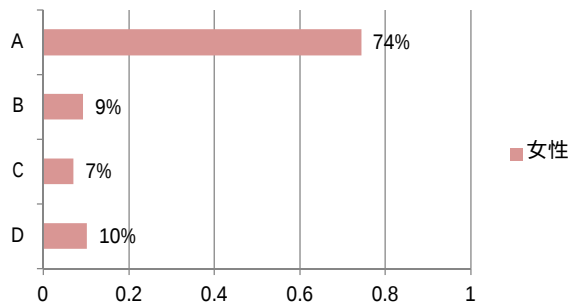


〔2〕 子どもがいる方にお尋ねします。
 次の制度の活用について、A～Dの中から最も近いと思われるものに○をつけてください。

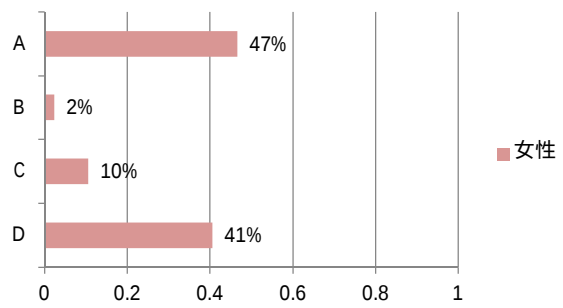
- A:活用した(している、するつもり)
 B:活用したが、希望する期間は取得できなかった
 C:活用したかったが、できなかった
 D:活用しなかった(しないつもり)



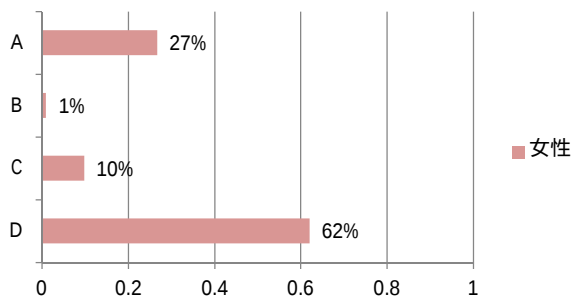
妊娠中の職員の通勤緩和職免



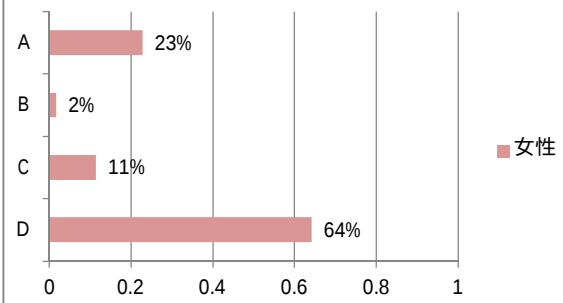
妊娠中の職員の保健指導職免



妊娠障害休暇



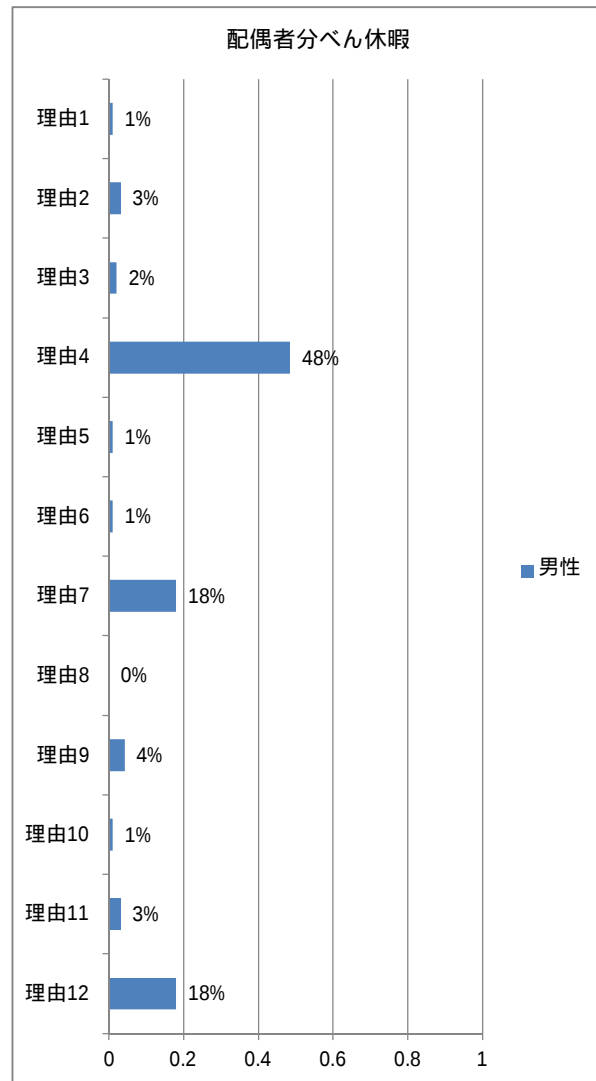
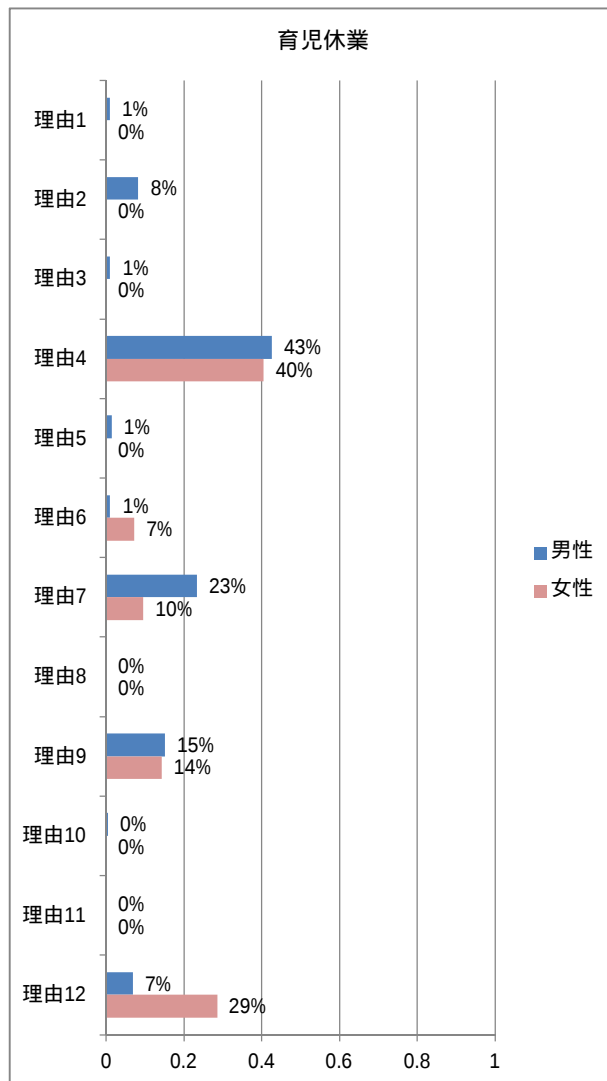
妊産婦の就業制限

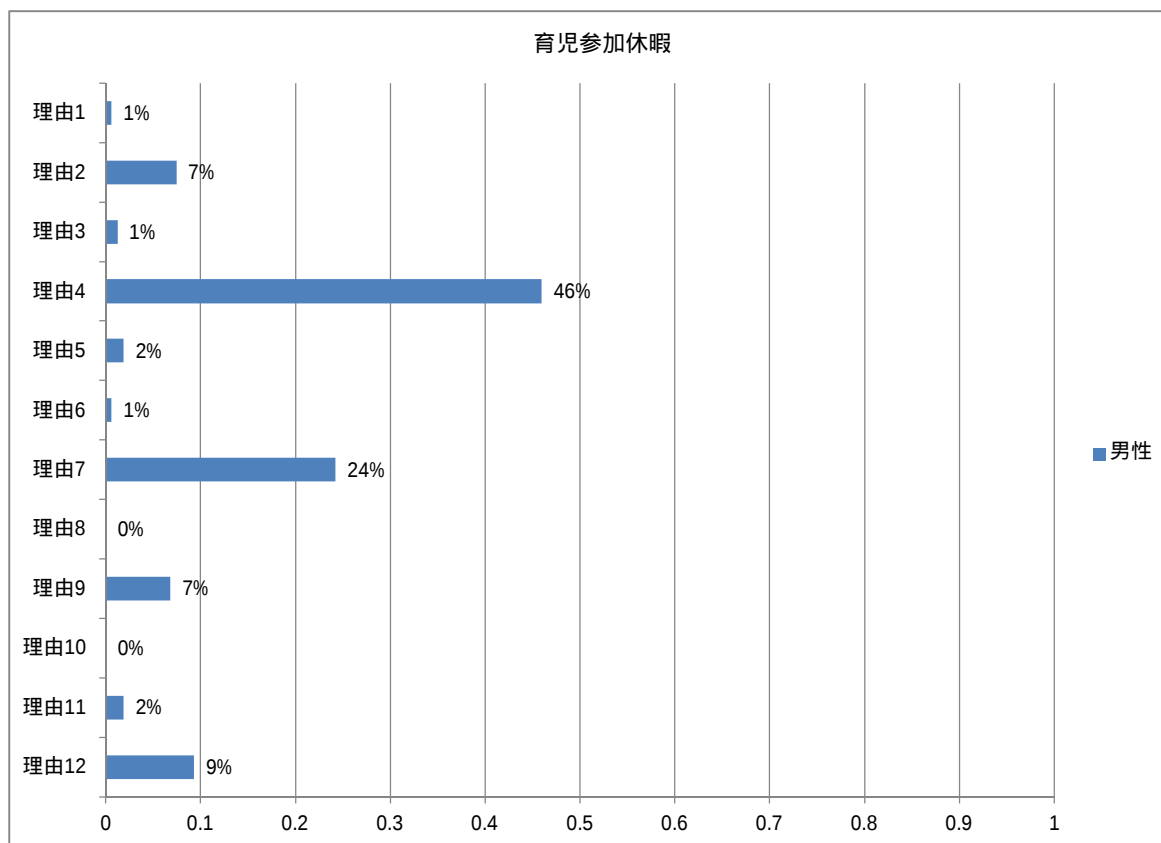


【3】 【2】で「育児休業」、「配偶者分べん休暇」、「育児参加休暇」を「B:活用したが、希望する期間は取得できなかった」、「C:活用したかったが、できなかった」と答えた方にお尋ねします。その理由について、最もあてはまるものはどれですか。最も近いものを1つ選んでください。

(理由)

- 1: 育児は女性がすべきであり、男性が仕事をして家計を支えるべきと考えた(考えている)
- 2: 育児をしてくれる配偶者や親等がいるため、取得する必要がなかった(必要ない)
- 3: 仕事と育児が十分に両立できると考えた(考えている)
- 4: 職場に迷惑をかけると思った(思う)
- 5: 体調や健康面で、特に取得する必要がなかった(必要がない)
- 6: 復帰後の職場や仕事の変化等に対応できなくなると思った(思っている)
- 7: 職場が制度を取得しにくい雰囲気であった(である)
- 8: 育児よりも仕事のほうがやりがいを感じていた(感じている)
- 9: 減収など経済的な理由で
- 10: 配偶者や家族から「活用すること」に反対があった
- 11: 制度がなかった
- 12: その他





【4】 【2】のいずれかの項目で「A:活用した」「B:活用したが、希望する期間は期間は取得できなかった」と答えた方にお尋ねします。職場に復帰する時に必要だと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

